



令和3年5月18日(火)

学校だより 第25号



高槻だより

高槻小学校学校教育目標
「心豊かで自ら学ぶ たくましい 子どもの育成」

目指す子どもの姿



た かい ころざしをもち **か** しこく
つ よく **き** よらかな 子ども



【高槻っ子の4つの実践…あいさつ・がんばり・おもいやり・いのち】【新しい価値創造に挑戦する学校】

感染拡大防止&健康管理等へのご配慮をお願いいたします！！



梅雨入り！！さらなる危機対応！！



先週末は、昨日にかけて、九州でもかなりの大雨になるという予報が出ていました。昨日の登校時は、雨はほとんど降ることもなく、子ども達の登校には支障はありませんでした。

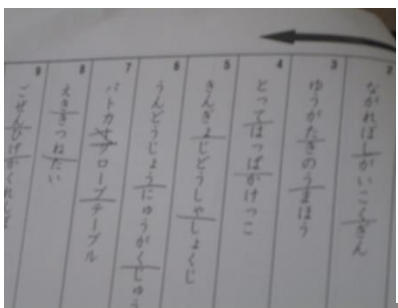
これまで、感染拡大防止の取組、熱中症防止の取組、健康な体づくり等、色々なことに取り組んでいます。この時期は、これらに加えて、防災（大雨、土砂災害、強風、台風等）に努めることも大切です。また、食中毒警報も出る時期でもあります。このように見てみると、身の回りには、色々な、そして、たくさんの危険があります。日頃から準備をし、日常的に実行していくことが、危機対応の力を付けることになります。

【高槻小スナップ[®]お知らせしたい子ども達の様子！！2年生 MIM学習】

今年は、MIMという指導モデルを取り入れています。今は、主に2年生ですが、今後は、1年生にも学習の時間を設定していきます。MIMという学習形態は、仮名文字の学習でつまずきやすい課題である「特殊音節（小さい「っ」の詰まる音（促音）、「う」や「お」で表す伸ばす音（長音）、小さい「ゃ」「ゅ」「ょ」の拗音など）」の習得を全ての子どもが確実に遂げていくことをねらっています。

「特殊音節」のつまずきについては、多くの子どもにとっても初めは、つまずきやすい課題といえるため、逆に、当初は、つまずいていても、「理屈ではなく、繰り返し行うことで、そのうち習得されるであろう」と捉えられがちです。しかし、特殊音節につまずきを示すのには、理由があります。それは、日本語の仮名文字は、基本的に一文字一音節で対応できる中、そのルールが適用されないのが特殊音節だからです。そこで、「経験や繰り返し」のみに頼るのではなく、子どもに明確な特殊音節に関するルールを伝えていくことが重要です。

MIMでは、3つのポイントに沿って指導法・教材を開発し、明瞭にかつ、体系的な指導をめざしています。



ルールの明確化（視覚化や動作化を通じた音節構造の理解）

（逐字ではなく）かたまりとして語を捉えることによる読みの速度の向上

日常的に用いる語彙の拡大と使用

【オンライン授業のための準備！！】

先週、各教室の授業の様子をタブレット端末を使って、配信の確認をしました。教室における設置場所の確認も兼ねて行っています。子ども達の画像が極力、抑えられるように配慮いたします。

【校長室より[®]保護者の皆様のサポートが支える学習システムです！！】

本日、「非常時に児童の学びを止めないためのオンライン授業実施に関するお願い」のプリントを配付しています。本校では、2年生以上で、ご家庭での接続テストを終えています。ガイドラインによると、①一斉休校等の場合は、3年生以上が持ち帰ります。また、②個別に貸し出しをする場合もあります。個別貸し出しは、保護者の方とお話をさせていただきます。

いずれの場合も、お子様の学習に活用するためであり、持ち帰りのマニュアルの厳守、端末損壊の未然防止の徹底等、しっかりとご確認の上、実施していくことが必要です。学校でも、使い方のみではなく、安全な管理についても指導しています。持ち帰りの際は、お子様の活用状況のサポートをお願いいたします。

※ 内容につきましては、どのようなことでもお尋ねください。